

嵐山町総合戦略  
検証結果  
(令和元年度)

令和2年7月

# 1. 雇用をつくる

## (1) 新たな産業と農業の活性化を図る

《基本目標》 嵐山町における新たな産業の創出と農業の活性化を図ります。

No.	基本目標と年度別実績				
1	指標の内容	市町村内総生産額※			
	現状値	平成 24 年度 73,001 百万円 (平成 26 年度発表)		目標値	80,000 百万円 (令和元年度発表)
	実績値	H27年度 77,438 百万円 平成 25 年度 (平成 27 年度発表)	H28年度 86,520 百万円 平成 26 年度 (平成 28 年度発表)	H29年度 82,308 百万円 平成 27 年度 (平成 29 年度発表)	H30年度 87,288 百万円 平成 28 年度 (令和元年度発表)

※市町村内総生産額：1年間に生み出される付加価値の総額

## 《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

### ○新たな産業の「風」をおこす

#### ①嵐山町版「地域おこし協力隊」の配置

No.	重要業績評価指標と年度別実績				
1	指標の内容	らんざん活性化チームのメンバー			
	現状値	—		目標値	10名(5か年分の累計)
	実績値	H27年度 地方創生加速化交付金にて採択	H28年度 H29年1月より町おこしディレクターを1名採用	H29年度 7名	H30年度 9名 R1年度 11名
2	指標の内容	らんざん活性化チームプロジェクトのイベント参加者数(既存イベントに参加する場合は増加数)			
	現状値	H28年度 0人		目標値	令和2年 4,950人(4か年分の累計)
	実績値	H28年度 —	H29年度 998人	H30年度 1,404人	R1年度 1,874人 R2年度

### 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	地域活性化事業	地域支援課	3,371	1,276	5,108	4,874	4,820	

### 【効果があったこと】

- 地方創生加速化交付金事業により平成29年1月から観光協会の委嘱を受け、町おこしディレクターが活動を開始し、令和2年3月末をもって活動期間が終了した。
- 嵐山さくらまつり花火大会のオープニングイベントを実施した。平成29年度より劇団による花火打ち上げ殺陣カウントダウンを行っており、子供たちとチャンバラを行うなど会場を盛り上げた。
- 戦略的ロケ誘致として映像作成会社に嵐山町の紹介等の活動を行ったことにより、嵐山町及び周辺市町村で映画・ドラマ等のロケを実施した。
- 教育関係者を対象とした日中韓環境教育ワークショップを開催した。日本20人、中国15人、韓国5人ほどが参加した。

- ・埼玉県主催の研修会等に参加し、他の参加者とのコネクションを築いた。
- ・町おこしディレクターとしての活動は終了したが、今後も様々な事業を計画している。

【課題となっていること】

- ・嵐山溪谷紅葉まつりにおいて、比企地域振興センターと協力し「比企サンド」店舗の出店、町内木材業者と協働して木工教室や幼稚園児とのイベントも計画していたが、台風19号の被害により中止となってしまった。

②農業を中心とした産業の新たな展開

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	農産物直売所の売上高					
	現状値	平成26年度 274百万円			目標値	令和2年度 312百万円	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
274百万円		288百万円	294百万円	310百万円	300百万円		
2	指標の内容	地産地消食堂の来客者数					
	現状値	—			目標値	令和2年度 35,000人/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
地方創生加速化交付金にて採択		1,829人/年 (平成29年2月~)	6,212人/年	3,511人/年	13,131人/年		
3	指標の内容	千年の苑事業・めんこ61プロジェクト、地域活性化事業による経済効果					
	現状値	平成28年度 748千円			目標値	令和2年度 126,605千円	
	実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
—		7,802千円	78,500千円	131,826千円			
4	指標の内容	景観作物作付面積					
	現状値	H27年度 0ha			目標値	令和2年度 10ha	
	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
2ha		5.6ha	8.0ha	6.0ha			
5	指標の内容	観光農園「千年の苑」及び地産地消食堂就労者数					
	現状値	H27年度 0人			目標値	令和2年度 20人	
	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
0人		44人	47人	66人			
6	指標の内容	千年の苑ラベンダー農園による経済効果					
	現状値	平成28年度 0千円			目標値	令和3年度 161,310千円	
	実績値	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
0千円 (H30年度プレオープン)		105,809千円	175,555千円				
7	指標の内容	千年の苑ラベンダー農園の来場者数					
	現状値	H28年度 0人			目標値	令和3年度 100,000人	
	実績値	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
0人 (H30年度プレオープン)		77,460人	75,646人				

8	指標の内容	千年の苑観光手芸用施設利用者数				
	現状値	H28年度 0人		目標値	令和3年度 1,420人	
	実績値	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		0人 (H30年度プレオープン)	27人	156人		

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	農業者支援事業	農政課	19,546	39,456	61,422	31,647	10,274	
2	農業施設整備事業	農政課	2,119	6,826	7,736	5,758	47,411	
3	農業振興事業	農政課	372	379	938	805	437	
4	特産品開発事業	企業支援課	500	300	0	0	0	

【効果があったこと】

- ・「千年の苑」(ラベンダー園)では、天候に恵まれない中、75千人超えの来場者があり、テレビ全国生中継による嵐山町の認知度向上や物販・雇用等の促進に効果があった。
- ・アンテナショップである「めんこ 61 味菜工房」の効果もあり、新たに5店から小麦農林61号の取扱希望があり、令和元年度では10店に納品することになった。また、町外ではあるが味菜工房の使用量と並ぶ大口の飲食店も加わった。
- ・小麦農林61号については、大口となる飲食店社から取扱希望があり、作付面積は平成30年度より0.8ha増えて7.4haとなった。平成30年度は余剰分として1.0haほど作付けしているの、実質的には1.8haの増加となった。

【課題となっていること】

- ・農産物直売所では、客数(▽5.7%)・農家の受託品(▽6.7%)とともに大幅減少であった。新型コロナウイルス感染の影響は軽微であり、それ以外の要因であったと推測できる。昨年同月との比較で増加月が2つしかなく原因追及と改善策の実行が急務となっている。
- ・「千年の苑」(ラベンダー園)では、長雨や台風が原因でほとんどの株が枯れてしまう壊滅的な打撃を受けた。今後も異常気象に対応できる苗の選定や土壌改良が課題となっている。
- ・小麦農林61号については、順調に協賛店を増やしているが、新たな町内店舗の開拓は厳しくなっており、町内の協賛店と競合しない町外店舗の開拓時期に来ている。
- ・ラベンダーまつりではある程度の集客は見込めるが、ラベンダーまつりの運営や園の管理も含めた費用の捻出が課題となっている。
- ・観光手芸施設はラベンダーまつり会場と離れているため、ラベンダーまつり開催時に一体的な利用をどのようにしていくかを再考する。

(2) 就労機会の充実を図る

《基本目標》 嵐山町における就労機会の拡充を図ります。

No.	基本目標と年度別実績						
1	指標の内容	嵐山町納税義務者数					
	現状値	H26年度 7,983人			目標値	令和2年度 8,000人	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		7,922人	8,065人	8,068人	8,140人	8,276人	

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

○企業誘致による魅力的なまちづくり

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	企業誘致条例等による立地企業数					
	現状値	—			目標値	2件(平成27年度から令和2年度累計)	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		0件	1件	0件 (累計1件)	0件 (累計1件)	0件 (累計1件)	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	企業誘致事業	企業支援課	0	20,508	31,243	51,216	19,653	
2	幹線道路整備事業	まちづくり整備課	80,410	71,471	52,351	37,842	53,897	

【効果があったこと】

- ・越畑地区において、大手ドラッグストア物流センターを誘致した。
- ・花見台工業団地拡張地区において、県企業局による立地企業の募集により3社の企業が選定され、今後造成が予定されている。
- ・嵐山小川インターランプ内において、造成工事がほぼ完了した。
- ・川島地区について、農林調整開始に向けて県等関係機関との調整を進めている。

【課題となっていること】

- ・新たな工業系エリアの早期完成には関係者における協議、地権者の理解、財政面など多くの課題がある。ただし、地域雇用の創出、地域経済の活力向上、税収増のため優良企業の誘致を計画的に実現したい。

○既存企業との連携による共同事業の推進

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	既存企業との共同事業					
	現状値	—			目標値	1事業(令和2年度累計)	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		0件	0件	3件 (累計3件)	1件 (累計4件)	0件 (累計4件)	

## 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	(仮称)企業連携共同事業	企業支援課 地域支援課	—	—	—	—	—	

## 【効果があったこと】

- ・町内企業から申し出があった町の魅力向上に関する企業との共同事業について継続して協議を続けており、令和2年度からは高齢者の見守り事業を試験運用する。
- ・地方創生加速化交付金事業により平成29年1月から観光協会の委嘱を受け、町おこしディレクターが活動を開始し、令和2年3月末をもって活動期間が終了した。
- ・嵐山さくらまつり花火大会のオープニングイベントを実施した。平成29年度より劇団による花火打ち上げ殺陣カウントダウンを行っており、子供たちとチャンバラを行うなど会場を盛り上げた。
- ・戦略的ロケ誘致として映像作成会社に嵐山町の紹介等の活動を行ったことにより、嵐山町及び周辺市町村で映画・ドラマ等のロケを実施した。
- ・教育関係者を対象とした日中韓環境教育ワークショップを開催した。日本20人、中国15人、韓国5人ほどが参加した。
- ・民間企業と「地方創生に係る包括連携協定」を締結しているが、さらに地方創生に係る様々な分野で相互に協力し、協働した取り組みを行っていく予定がある。

## 【課題となっていること】

- ・嵐山溪谷紅葉まつりにおいて、比企地域振興センターと協力し「比企サンド」店舗の出店、町内木材業者と協働して木工教室や幼稚園児とのイベントも計画していたが、台風19号の被害により中止となった。

## ○潜在的な働き手の確保

## ①高齢者の就労の促進

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
	指標の内容	健康寿命 <sup>※</sup> の向上					
1	現状値	H26年度 男性 16.54歳 女性 19.64歳			目標値	令和2年度 男性 16.85歳 女性 19.75歳	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		男性 16.81歳 女性 19.78歳	男性 17.34歳 女性 20.22歳	男性 17.40歳 女性 20.48歳	男性 17.30歳 女性 20.30歳	男性 17.13歳 女性 20.43歳	

※健康寿命は埼玉県方式を使用し、65歳に達してから介護保険制度の要介護2以上になるまでの間をいいます。

## 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	健康づくり事業	健康いきいき課	18,579	12,876	16,196	9,814	8,913	
2	高齢者就業促進事業	長寿生きがい課	7,280	11,844	11,549	11,711	11,753	

【効果があったこと】

- 令和元年度より新規事業として、「らんらん健康教室」を5月から3月まで実施した。運動教室や栄養・食事教室、歯科教室など全11回のプログラムを行い、参加者78人延べ597人が参加した。健康寿命について男性は17.13歳（H26県内49位→R1県内57位、女性は20.43歳（H26県内41位→R1県内38位）となった。
- 平成30年度から埼玉県コバトン健康マイレージ事業に参加した。令和元年度末の参加者は547人（平成31年3月末460人）であった。また、埼玉県コバトン健康マイレージ事業に加え、町のイベントなどに参加するとポイントを付与するなどの町独自の「らんらんポイント」の令和元年度末の参加者は273人（平成31年3月末205人）であった。

【課題となっていること】

- 参加者の年齢層に偏りがあり、若年層の参加者が少ない。生活習慣の改善には若いころからの取り組みが有効であるため、若い世代の参加者数の増加を図る必要がある。また、参加者は過去の教室参加者が多く、すでに健康増進に取り組んでいる人が多い。町全体の健康増進を目指すためには、教室等へ参加したことのない人へのアプローチ方法を検討していく。

②高齢者の助け合いの充実

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	嵐山おたすけサービス事業延利用者数					
	現状値	H26年度 690人		目標値	令和2年度 1,500人		
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		1,520人	1,740人	1,156人	1,175人	1,488人	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	嵐山おたすけサービス事業	長寿生きがい課	1,000	1,000	1,500	1,500	1,500	

【効果があったこと】

- 嵐山おたすけサービス事業は、利用者数、利用時間とも増加している。利用会員登録者数が200人から210人に増加したことにより、地域とのつながりや生きがいづくり、定期的な見守り体制の充実が図られた。

【課題となっていること】

- 嵐山おたすけサービス事業の利用会員登録者数は昨年度から10人増加の210人となったが、サービスを提供する協力会員は昨年度から2人増加の68人で増えていない。協力会員の高齢化も進んでおり協力会員の確保が課題となっている。

③女性の就労支援

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	待機児童数					
	現状値	H26年度 0人		目標値	令和2年度 0人		
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		21人	25人	25人	10人	9人	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	子どものための教育・保育給付事業	教育委員会事務局	303,794	346,731	374,855	366,509	409,565	
2	保育所保育事業	子育て支援課	27,433	153,001	26,732	27,553	31,259	
3	男女共同参画推進事業	地域支援課	48	427	220	48	48	

【効果があったこと】

- ・平成30年度からの保育施設定員増により待機児童が減少している。

【課題となっていること】

- ・少子高齢化により児童数が減少してきており、待機児童数は減少傾向であるが、今後定員数を下回ってきた時の保育施設運営が課題である。

## 2. 人の流れをつくる

(1)「嵐山町（らんざんまち）」の知名度向上を図る

《基本目標》 「嵐山町（らんざんまち）」を応援して頂いている人数の増加を図ります。

No.	基本目標と年度別実績						
1	指標の内容	嵐山町公式ツイッターのフォロワー数					
	現状値	H26年度末 226人		目標値	令和2年度末 2,000人		
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		328人	602人	858人	1,028人	1,263人	

### 《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

○ICTを積極的に活用した知名度の向上

①ホームページ等インターネットやマスメディア等の積極的利活用

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	嵐山町公式ホームページのヒット数					
	現状値	H26年度 126,354件/年		目標値	令和2年度 200,000件/年		
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		123,288件/年	119,106件/年	141,380件/年	163,104件/年	167,010件/年	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	ホームページ運用管理事業	地域支援課	1,342	2,672	1,315	1,237	1,259	
2	比企地域情報発信事業	地域支援課	—	—	—	—	—	

【効果があったこと】

- ・町ホームページの更新に必要なCMS（コンテンツ管理システム）の操作研修会を行った。
- ・トップページのアクセス数は163,104件から167,010件へと3,906件（前年比2.3%）増加した。
- ・ツイッターに各種イベントや町の情報を随時投稿し、フォロワー数が増加（235件増、前年比22.8%増）した。令和元年度は、ラベンダーまつり以外にもゲームアプリを活用したイベント「ミッションディ武蔵嵐山」やテレビ埼玉で町を紹介する企画があり、フォロワー数の向上につながった。

【課題となっていること】

- ・町ホームページの更新にはCMSを使用している。積極的に情報発信を行うため、各職員がCMSの使用に必要な知識と技術を身に付ける必要がある。職員向け研修会を適宜行っていく。
- ・町ホームページと現在活用しているツイッター・YouTubeとを関連づけた情報発信を行う。
- ・SNSの種類が豊富になり、ツイッター・YouTubeに加え新たにFacebookなどを含めたSNSの活用について検討を進めていく必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、例年行われていたイベントが中止されるなど状況に応じた情報発信が必要となる。

②観光地等におけるインターネット環境の整備

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	観光施設等におけるWi-Fiの設置数					
	現状値	H27年度 3件		目標値	令和2年度 7件		
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		3件	3件	9件	9件	9件	

【決算額】 (千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	観光施設整備事業	企業支援課	3,433	6,058	8,478	5,586	0	

【効果があったこと】

- ・現在、役場庁舎エントランスホール、ふれあい交流センター、知識の森嵐山町立図書館、嵐山町ステーションプラザ「嵐なび」、北部交流センター、花見台工業団地管理センター、B&G 海洋センター、杉山城跡、嵐山溪谷バーベキュー場の9か所に設置されており、官公庁施設や観光地などでも容易にインターネットに接続できる環境を提供している。
- ・嵐山町ステーションプラザ「嵐なび」では、令和元年度中のWi-Fiアクセス数が6,149件、杉山城では3,505件となっており、多くの方に利用されている。また、他の施設では年間1,000件未満のアクセス数であるが、災害時の避難所でもあるため、有事の際のインターネット接続環境としての役割を担っている。

【課題となっていること】

- ・町内の主な観光スポットにWi-Fiを設置することができた。今後、ラベンダー園や学校橋河原周辺など観光スポットの整備に応じてWi-Fiの設置を検討する必要がある。

③「むさし嵐丸」の活用

No.	目標値と年度別実績						
1	指標の内容	「むさし嵐丸」の知名度(アンケート調査より)					
	現状値	H27年度 8.6%		目標値	令和2年度 30%		
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		—	—	—	—	—	

【決算額】 (千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	マスコットキャラクター等維持管理事業	企業支援課	422	961	553	371	380	

【効果があったこと】

- ・むさし嵐丸は令和元年度に延べ46日(町所有分のみ)[平成30年度活動日数57日]活動した。また、令和元年度のむさし嵐丸グッズの売上高は、612,993円を売上げ、むさし嵐丸の知名度は次第に高まっていると思われる。さらに、オリジナルのクリアファイル・トレーディングカードを限定作成することで、付加価値を付けファンの拡大を図っている。

【課題となっていること】

- ・世界キャラクターサミットなどの各種イベントに参加しており、知名度向上を行っている。嵐山町外の知名度向上が課題であるが、イベント等に積極的に参加するためには、スタッフの充実が必要不可欠である。ボランティア組織等によるキャラクター運営方法等の構築が必要である。
- ・マスコットキャラクターの販売グッズが少ないためファンからの作成要望が多く作成者の発掘が緊急課題である。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により年度末に参加予定していたイベントが中止となり、知名度アンケート調査が行えなかった。

(2) 嵐山町への定住人口の増加を図る

《基本目標》 嵐山町の転入者の増加を図ります。

No.	基本目標と年度別実績						
1	指標の内容	嵐山町の転入者数の増加					
	現状値	—			目標値	純移動数累計 175 人増加 (平成 28 年度から令和 2 年度まで)	
	実績値	H27年度 累計 14 人増 H26 年度 14 人増 (H27 年度発表)	H28年度 累計 124 人増 H27 年度 112 人増 (H28 年度発表)	H29年度 累計 119 人増 H28 年度 5 人減 (H29 年度発表)	H30年度 累計 155 人増 H29 年度 36 人増 (H30 年度発表)	R1 年度 累計 329 人増 H30 年度 174 人増 (R1 年度発表)	R2 年度

《具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)》

○良好な住宅用地の確保

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	土地区画整理事業地内への建築物立地数					
	現状値	—			目標値	90 件 (平成 27 年度から令和 2 年度累計)	
	実績値	H27年度 15 件	H28年度 38 件	H29年度 59 件	H30年度 68 件	R1 年度 78 件	R2 年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	平沢土地区画整理事業	まちづくり整備課	124,210	128,270	150,000	100,000	21,270	
2	東原土地区画整理事業	まちづくり整備課	10,500	12,000	—	—	—	

【効果があったこと】

- ・土地区画整理事業地の住宅地転換がさらに図られ、令和元年度に 10 件の新築行為があり、平成 27 年度から 5 年間の累計が 78 件となり、さらに建築物件数を増加することができた。

【課題となっていること】

- ・比企管内市町で優良住宅地の整備が行われた地区では人口が大幅に増加している。町内の土地区画整理事業も 2 事業終了し、平沢土地区画整理事業地内の造成もほぼ完了している。今後は平沢土地

区画整理事業地内の住宅の増加を図り、人口増加に結びつけることが必要である。

- ・事業は長期化しており全体の事業費の増加が課題となっている。

### ○子育て世代の転入者の増加推進

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	申請者数				
	現状値	—		目標値	125件 (平成27年度から令和元年度まで累計)	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
15件		11件 (累計26件)	20件 (累計46件)	17件 (累計63件)	13件 (累計76件)	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	R1
1	子育て世帯等転入奨励事業	地域支援課	3,890	2,850	5,100	2,850	2,050

【効果があったこと】

- ・事業終了年度である令和元年度は13件42人の転入があった。平成26年度の事業開始より83件269人が転入し、一定の転入奨励効果があったと思われる。広報やホームページ、また全国的にも転入や住宅購入に係る助成金の給付が周知されたため、受付終了後も問い合わせが多かった。

【課題となっていること】

- ・住宅購入に係る助成による転入奨励効果は得られたが、人口減少は引き続き課題である。今後は短期的ではなく、長期的な子育て世帯等への支援や町独自の魅力をPRしていく必要がある。

### ○有効な空き家対策の推進

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	空き家バンクの売買件数					
	現状値	—		目標値	30件(平成28年度から令和2年度累計)		
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
—		空き家バンク制度 H29年2月開始 0件(累計0件)	3件 (累計3件)	7件 (累計10件)	1件 (累計11件)		

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	空き家対策事業	環境課	—	5,098	359	0	500	

【効果があったこと】

- ・空き家バンク制度については、令和元年度末現在で4件の物件登録があり、累計で11件の売却契約、3件の賃貸契約が締結された。

- ・1件空き家をリフォームし、令和2年度より嵐山町社会福祉協議会が運営する高齢者向けのサロンとして活用する。

【課題となっていること】

- ・団地など住宅密集地での空き家の増加が顕著であり、適正管理を含めた空き家対策への要望、苦情等が増加している。土地所有者へ適正管理に係る通知の送付や直接話をするも、実際の作業に移行してくれない案件が増えている。
- ・空き家バンクの登録件数を増やす必要があるが、町内の空き家については耐震性やリフォームなどに問題があり、積極的利活用は難しい状況にある。空き家所有者に今後の維持管理、活用について更に周知啓発を図りたい。

(3) 嵐山町への来客数の増加を図る

《基本目標》 嵐山町への観光客数を増やし、交流人口の増加を図ります。

No.	基本目標と年度別実績						
1	指標の内容	入込み観光客数の増加					
	現状値	H26年度 321,916人/年		目標値	令和2年度 350,000人/年		
	実績値	H27年度 319,382人/年	H28年度 345,388人/年	H29年度 467,745人/年	H30年度 480,903人/年	R1年度 436,163人/年	R2年度

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

○新たな駅前情報発信拠点の整備

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	地域活力創出拠点の物産売場での売上高					
	現状値	H28年度 0千円		目標値	令和2年度 61,020千円		
	実績値	H29年度 0千円	H30年度 1,406千円	R1年度 2,391千円	R2年度		
2	指標の内容	地域活力創出拠点の来客者数					
	現状値	H28年度 0人		目標値	令和2年度 339,000人		
	実績値	H29年度 0人	H30年度 344,000人	R1年度 327,000人	R2年度		
3	指標の内容	地域活力創出拠点の観光情報発信による経済効果					
	現状値	H28年度 0千円		目標値	令和2年 255,270千円		
	実績値	H29年度 0千円	H30年度 191,328千円	R1年度 187,437千円	R2年度		

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	地域活力創出拠点整備事業	企業支援課	12,420	17,357	244,523	4,435	8,237	

【効果があったこと】

- ・6月のラベンダーまつりに合わせ、東武健康ハイキングが嵐なびをスタート地点として実施され、9日間で延べ2,909人の参加者を迎えることができた。
- ・平成31年4月から嵐なび1階の特産品販売、観光等案内業務を町、商工会、観光協会で構成される元気回復会議のスタッフによりリニューアルした。6月のラベンダーまつりの期間には、ラベンダー関連の土産品を充実させたことで売り上げが好調であった。

【課題となっていること】

- ・駅周辺活性化10年計画における中心的施設となる駅前情報発信拠点について、小イベントスペースの活用方法等、運営内容についてより充実させるため、観光協会、商工会との連携を図る必要がある。
- ・取扱っている商品が少ないため、さらなる商品開発が必要である。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により駅周辺の飲食業等の店舗の売り上げに影響が出でおり今後の営業方法について課題となっている。

○嵐山溪谷バーベキュー場等の整備

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	嵐山溪谷バーベキュー場の来客者数					
	現状値	H26年度 91,613人/年		目標値	令和2年度 100,000人/年以上		
	実績値	H27年度 92,716人/年	H28年度 86,772人/年	H29年度 85,494人/年	H30年度 82,831人/年	R1年度 73,884人/年	R2年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
1	観光施設整備事業	企業支援課	3,433	6,058	8,478	5,586	4,583	

【効果があったこと】

- ・近隣に千年の苑ラベンダー園がオープンしたことで、ラベンダー園の見学者がバーベキュー場の駐車場を利用する機会が増え、駐車場利用者の増加に繋がっている。

【課題となっていること】

- ・10月の台風19号の河川の増水被害により12月までの営業を休止した。これにより嵐山溪谷紅葉まつりも中止となったため入込観光客も激減し、更に年度末からの再開予定も新型コロナウイルス感染防止の観点から施設の再開が遅れている。
- ・比企地域内でも同様の施設が作られたことで分散が生じ、来場者数が減少している。何度も訪問したいと思われるような観光施設となるよう更なる充実を図る必要がある。

○新たな観光資源の活用

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	杉山城跡の来客者数					
	現状値	H26年度 約1,500人/年			目標値	令和2年度 15,000人/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		2,340人	2,700人	3,597人	10,000人	11,300人	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	観光施設整備事業	企業支援課	3,433	6,058	8,478	5,586	4,583	
2	杉山城跡整備事業	教育委員会事務局課	36,637	2,900	—	1,501	—	
3	歴史・文化等観光活性化事業	教育委員会事務局課	—	—	—	—	—	

【効果があったこと】

- ・杉山城跡については、「続日本100名城」に選定され、その歴史的価値及び史跡の環境整備状況を評価いただき、多くの方に来訪いただいた。

【課題となっていること】

- ・来訪者が町内で消費をするような仕組み作りが課題となっている。
- ・訪れた観光客への対応と史跡の保護・保存との両立のために、杉山城跡整備基本計画の策定と体制の確立が課題となっている。
- ・千年の苑ラベンダー園や北部の観光資源と連携するなど、町内の他の資源が共同することで、さらなる集客増に繋げたい。

○「武蔵嵐山」の再生

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	嵐山溪谷バーベキュー場の来客者数(再掲)					
	現状値	H26年度 91,613人/年			目標値	令和2年度 100,000人/年以上	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		92,716人/年	86,772人/年	85,494人/年	82,831人/年	73,884人/年	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	川のまるごと再生事業	環境課	30,629	0	—	—	—	
		まちづくり整備課	22,084	19,342	—	—	—	
		企業支援課	8,407	41,923	—	—	—	
2	武蔵嵐山管理活用事業	まちづくり整備課	—	638	372	1,301	1,306	

【効果があったこと】

- ・近隣に千年の苑ラベンダー園がオープンしたことで、ラベンダー園の見学者がバーベキュー場の駐車場を利用する機会が増え、駐車場利用者の増加に繋がっている。

【課題となっていること】

- ・ 10月の台風19号の河川の増水被害により12月までの営業を休止した。これにより嵐山溪谷紅葉まつりも中止となったため入込観光客も激減し、更に年度末からの再開予定も新型コロナウイルス感染防止の観点から施設の再開が遅れており、来年度以降の入込観光客数の減少が懸念される。
- ・ 比企地域内でも同様の施設が作られたことで分散が生じ、来場者数が減少している。何度も訪問したいと思われるような観光施設となるよう更なる充実を図る必要がある。

### 3. 安心して結婚・出産・子育てができる社会をつくる

#### (1) 結婚の機会拡大と妊娠・出産・子どもの健康の支援

《基本目標》 結婚の機会や妊娠・出産・子どもの健康の支援を行い、出生数の増加を図ります。

No.	基本目標と年度別実績							
1	指標の内容	出生数の増加						
	現状値	H25年度 95人			目標値	令和2年度 130人		
	実績値	H27年度 112人/年 H26年度 (H27年度発表)	H28年度 119人/年 H27年度 (H28年度発表)	H29年度 118人/年 H28年度 (H29年度発表)	H30年度 90人/年 H29年度 (H30年度発表)	R1年度 87人/年 H30年度 (H31年度発表)	R2年度	

#### 《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

##### ○結婚する機会の支援

No.	重要業績評価指標と年度別実績							
1	指標の内容	嵐山町の出会い支援事業に参加した人数						
	現状値	—			目標値	250人（令和2年度までの累計）		
	実績値	H27年度 51人	H28年度 38人 (累計89人)	H29年度 59人 (累計148人)	H30年度 41人 (累計189人)	R1年度 —	R2年度	

##### 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	出会い支援事業	企業支援課	—	—	—	—	—	

##### 【効果があったこと】

- ・平成30年度までの4年間の平均参加人数は約47人となっており、令和2年度までの目標値が250人であることから参加人数の平均値で推測すると一定の効果があったと判断して事業を終了した。

##### 【課題となっていること】

- ・今後においては、社会情勢等を踏まえ再開を検討するが、事業費の財源確保が課題となる。

○妊娠・出産・子どもの健康に対する総合的な支援

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	乳幼児健康診査受診率					
	現状値	H26年度 91.5%			目標値	令和2年度 100%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		96.6%	95.8%	99.8%	99.7%	97.5%	
2	指標の内容	法定外予防接種*の受診延べ人数					
	現状値	H26年度 860人			目標値	令和2年度 910人	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		856人	673人	420人	405人	369人	

※ここでいう法定外予防接種は、平成27(2015)年度時の法定外予防接種を指し、ロタウイルス・おたふく・B型肝炎・インフルエンザ(中学3年のみ)を基準とします。B型肝炎については平成28年10月より定期接種となりました。

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	乳幼児健診事業	子育て支援課	3,100	3,316	3,213	3,066	2,717	
2	母子保健事業	子育て支援課	1,646	2,096	2,266	2,152	2,823	
3	妊婦健康診査事業	子育て支援課	11,627	8,728	9,165	7,264	7,188	
4	地域療育事業	子育て支援課	1,282	1,215	1,248	1,529	1,285	
5	予防接種事業	健康いきいき課	46,966	47,920	42,160	41,975	41,219	
6	不妊助成事業	子育て支援課	—	—	320	260	600	

【効果があったこと】

- ・子育て世代包括支援センターの開設に伴い、子育て支援課の母子保健担当職員全員がセンター事務室に常勤することにより、保健師、看護師、管理栄養士、保育士等多くの専門職が連携・情報共有しながら全ての母子を見守る体制が整ったことにより、育児不安の軽減、児童虐待の防止につながっている。
- ・個別通知で乳幼児健康診査の受診を勧め、乳幼児健康診査受診率を100%に近く維持することができた。未受診者に対しては、電話、訪問、保育園からの情報等で状況把握している。
- ・個別勧奨通知や就学時健診会場での個別勧奨を実施した結果、高い接種率を維持できている。県内でもこれほど法定外予防接種のサービスが手厚い自治体はなく、子育て支援に積極的に取り組んでいる町として大きくアピールすることができた。

【課題となっていること】

- ・出生率の低下に反して支援の必要な母子が増えており、令和元年度に開設した子育て世代包括支援センターにおいて、より充実した支援体制をめざしていく。

(2) 未来志向の子育ての支援の充実

《基本目標》 子どもも大人も未来志向になるよう、子育て支援や食育の推進を図ります。

No.	基本目標と年度別実績						
1	指標の内容	地域子育て支援センター数及び年間利用者数					
	現状値	H26年度 1箇所 4,403人/年			目標値	令和2年度 2箇所 6,500人/年	
	実績値	H27年度 1箇所 4,538人/年	H28年度 1箇所 4,679人/年	H29年度 1箇所 4,994人/年	H30年度 1箇所 5,945人/年	R1年度 1箇所 4,806人/年	R2年度
2	指標の内容	つどいの広場年間利用者数					
	現状値	H26年度 2,870人/年			目標値	令和2年度 3,000人/年	
	実績値	H27年度 2箇所 1,108人/年	H28年度 3箇所 1,446人/年	H29年度 3箇所 1,363人/年	H30年度 3箇所 1,008人/年	R1年度 2箇所 1,434人/年	R2年度
3	指標の内容	朝食を毎日食べる3歳児の割合					
	現状値	H26年度 80.7%			目標値	令和2年度 95%	
	実績値	H27年度 79.4%	H28年度 78.5%	H29年度 81.8%	H30年度 91.3%	R1年度 95.3%	R2年度

※平成26年度中は地域子育て支援センター数は2箇所ありましたが、平成27(2015)年度から1箇所となっています。

《具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)》

○子育て支援情報の積極的な提供

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	子育て支援情報専用サイトのアクセス数					
	現状値	—			目標値	令和2年度 8,000件/年	
	実績値	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 —	H30年度 —	R1年度 —	R2年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	子ども・子育て支援事業	子育て支援課	2,860	4,127	5,658	5,305	5,407	

【効果があったこと】

- ・嵐山町公式ホームページや広報紙において、継続して子育て支援情報を掲載しており、つどいの広場(レピ)の利用者が増えている。

【課題となっていること】

- ・提供されている専用サイトでは、現在行っている業務がまかなえないことが判明しており、開設までには至っていない。継続的な運営をするにはこの部分の改善と人員及び財源が課題である。

○子ども・子育て支援の充実

No.	重要業績評価指標と年度別実績							
1	指標の内容	待機児童数(再掲)						
	現状値	H26年度 0人			目標値	令和2年度 0人		
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		21人	25人	25人	14人	9人		

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	子どものための教育・保育給付事業(再掲)	子育て支援課	303,794	346,731	374,855	366,509	409,565	
2	保育所保育事業(再掲)	子育て支援課	27,433	153,001	26,732	27,553	31,259	
3	家庭保育室補助事業	子育て支援課	442	193	368	0	0	
4	子ども・子育て支援事業(再掲)	子育て支援課	2,860	4,127	5,658	5,305	5,407	
5	地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	9,901	8,272	8,237	8,247	8,482	
6	遊びの場整備事業	まちづくり整備課	—	—	—	—	—	

【効果があったこと】

- ・平成30年度からの保育施設定員増により待機児童が減少している。

【課題となっていること】

- ・少子高齢化により児童数が減少してきており、待機児童数は減少傾向であるが、今後定員数を下回ってきた時の保育施設運営が課題である。

○子育て世帯への経済的支援の充実

No.	重要業績評価指標と年度別実績							
1	指標の内容	子育て高齢者応援リフォーム補助金の申請件数						
	現状値	—			目標値	50件(子育て分) (平成27年度から令和元年度までの累計)		
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
		1件(子育て分)	3件(子育て分)	5件(子育て分)	5件(子育て分)	6件(子育て分)		
2	指標の内容	多子世帯保育料減免対象児童						
	現状値	—			目標値	令和2年度 15人		
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		24人	32人	21人	14人	16人		

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	子育て高齢者応援リフォーム補助事業	まちづくり整備課	807	1,139	1,023	755	459	
2	多子世帯保育料減免事業	子育て支援課	減免額 1,598	減免額 2,350	減免額 1,871	減免額 1,967	減免額 1,863	
3	こども医療費支給事業	子育て支援課	45,893	53,604	50,807	50,034	48,047	

【効果があったこと】

- ・令和元年全体の件数 5 件のうち 1 件が子育て世帯からの申請であった。子育て世帯の経済的負担について一定の効果が得られたと思われる。
- ・補助制度に関し広報紙への掲載等を行い、ある程度周知を図ることが出来た。
- ・保育所に入所する第 3 子以降の児童の保育料を助成することにより、多子世帯の経済的負担の軽減が図られた。

【課題となっていること】

- ・子育て高齢者応援リフォーム補助事業制度を行うことにより、子育て世帯の住環境の改善が図られていた。目標には達しなかったが、希望者には全て対応できた。
- ・平成 27 年度から行っていた子育て高齢者応援リフォーム補助金については 5 年間が経過したため令和元年度をもって事業終了となった。
- ・多子世帯保育料の減免は、埼玉県と共に実施している事業である。埼玉県は単年度の事業として実施しているため、終了年度が明確でないことから、県補助が終了した場合、今後、町単独事業として実施していくか課題となっている。

○食育の推進

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	朝食または夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数					
	現状値	H26 年度 週 8.8 回			目標値	令和 2 年度 週 10 回以上	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		H31 年度測定 予定	—	—	—	週 8.8 回	
2	指標の内容	学校給食における地場産物を使用する割合（食材の種類）					
	現状値	H26 年度 10 品目			目標値	令和 2 年度 15 品目	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		13 品目	16 品目	19 品目	22 品目	20 品目	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	健康づくり事業(再掲)	健康いきいき課	18,579	12,876	16,196	9,814	8,913	
2	食育事業	健康いきいき課	—	—	—	—	—	

【効果があったこと】

- ・おやこ教室では、甘いものだけでなく、補食の代わりになる食事系おやつを試食を中心に実施した。試食を通して、主食・主菜・副菜を揃えるなど、バランスの良い食事に結びつけている。
- ・学校給食に地元野菜を 30%以上使用することはできなかった。(実績 25.4%) 学校臨時休業に伴い、全体としての使用量も減少したが、ほうれんそう、たまねぎは多く使用することができた。献立表に使用する地元野菜を掲載することで、地元で生産されている野菜について、学校・家庭へ周知することができた。広報での特集記事の掲載により、学校給食についての周知が出来た。

【課題となっていること】

- ・ 母親の定職状況によって、子供の生活リズム、バランスのとれた食事に影響を与えているように思われる。今後は幼稚園、保育園との連携も課題となっている。
- ・ 給食に使用する作物の大半は露地物となっているため、出荷時期が限られている。また、献立や提供時期の工夫はしているが、天候等により生産量が影響を受けるため、使用量が安定しない、価格変動の影響を受けやすいことが課題となっている。
- ・ 健診、教室等で実施した健康教育が実際に家庭で反映されているかを確認するのが難しい。

(3) 嵐山町の教育環境の充実

《基本目標》

まちづくりの基本はひとづくりであり、優秀な人材を輩出するため、教育環境の充実を図り、若い世代に安心と希望を創出します。

No.	基本目標と年度別実績						
1	指標の内容	埼玉県が行う3つの達成目標における「学力」の達成率					
	現状値	H26年度 95.5%			目標値	令和2年度 98.0%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		—	—	—	—	—	
2	指標の内容	埼玉県が行う3つの達成目標における「新体力テスト」の県平均を上回る項目率					
	現状値	H26年度 80.0%			目標値	令和2年度 90.0%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		98.6%	87.5%	79.9%	79.9%	88.9%	
3	指標の内容	埼玉県が行う3つの達成目標における「規律ある態度」を8割以上身に付けている生徒の割合					
	現状値	H26年度 80.0%			目標値	令和2年度 90.0%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		94.4%	86.1%	90.3%	97.2%	97.2%	

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

○町立小中学校の学力の向上

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	埼玉県が行う3つの達成目標における「学力」の達成率					
	現状値	H26年度 95.5%			目標値	令和2年度 98.0%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		—	—	—	—	—	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	学力向上事業	教育委員会事務局	—	—	—	—	—	

【効果があったこと】

- ・「埼玉県学力・学習状況調査」については、教科の領域別、評価の観点別、問題形式別に分析を行っており、学年・学級の課題や傾向を把握した上で授業を行っている。その結果、小学校における「学力の伸び」の合計は6で、県における「学力の伸び」の合計8と比較すると2段階下回った。また、中学校における「学力の伸び」の合計は13で、県における「学力の伸び」の合計10と比較すると3段階上回った。町全体としては、小5の国語以外の調査で学力のレベルが上がり、学力の伸びが見られた。
- ・各校における年間指導計画に ICT 活用にかかる領域・単元等を位置づけ、計画的な指導を行っている。

【課題となっていること】

- ・「埼玉県が行う3つの達成目標における「学力」の達成率」に関する調査がなかったため、実績なしとなった。
- ・「埼玉県学力・学習状況調査」の結果から、以下の課題があることが分かった。
  - 国語科…文脈に即して漢字を正しく読む・書く・使う、漢字の部首を理解する、ことわざの意味を理解し適切に使う、修飾と被修飾の関係を理解する、登場人物の心情を読み取る、連体修飾・連用修飾の違いが分かる
  - 算数・数学科…円周率を用いて半円の周りの長さを求めることができる、一次関数の変化の割合を考える
  - 英語科…会話文を読んで重要な内容やことがらを理解できる  
今後も、教科の領域別、評価の観点別、問題形式別に分析を行い、学年・学級の課題や傾向を把握した上で授業の工夫改善を行う必要がある。
- ・「新体力テスト」の結果から、特に小学校の握力について数値が低いことから、筋力を高めるための運動を、体育の授業や体育的活動、常の遊びに取り入れる必要があると思われる。
- ・各小中学校に導入しているタブレット型PCを中心としたICTの効果的な活用について研究を推進する必要がある。

○特色ある教育の推進

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	嵐山町の中学生の不登校率					
	現状値	H25年度 2.52%			目標値	令和2年度 2.42%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		3.49%	2.82%	4.53%	4.11%	5.83%	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	小中一貫教育推進事業	教育委員会事務局	9,142	9,810	8,461	6,097	6,532	

【効果があったこと】

- ・不登校対策を強化するため、平成28年度からスクールソーシャルワーカーの配置日数に町単独費用で週2日を加え週4日に拡大し、さらにスクールパートナーを1名配置している。小学校における

不登校率が下がってきているのに対し、中学校における不登校率は依然として深刻な状況が続いているが、学校や関係機関に登校・通室することができるようになったケースも複数件あった。

- 各中学校区において、9年間を見通した児童生徒の共通目標を設定し、それに向かって様々な活動に取り組んできた。小中学校 9 年間の連続性を重視した小中一貫教育の推進により、児童生徒の学習意欲の向上と「中1ギャップ」の解消を図ることができつつある。
- 嵐山町いじめ問題対策連絡協議会を開催し、いじめの状況と取組みについての情報交換等を行うとともに、意見を聴取した。
- 嵐山町いじめ防止基本方針に基づき、町、学校、保護者が連携を図るとともに、児童生徒自身への啓発を行った。

**【課題となっていること】**

- 平成 28 年度から更なる対策を実施したが、長期欠席児童生徒への対応について更なる研究や検討が必要となっている。
- 嵐山町いじめ問題対策連絡協議会を開催し、町、学校、保護者、関係機関において、町のいじめの状況と取組についての情報交換等を十分に行う必要がある。

**○学習の基礎となる国語力の向上**

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	学校図書館貸し出し冊子数					
	現状値	—			目標値	令和 2 年度 100,000 冊/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		25,047 冊	16,840 冊	15,050 冊	16,100 冊	27,300 冊	

**【決算額】**

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	学校図書館事業	教育委員会事務局	—	—	—	—	—	

**【効果があったこと】**

- 読書月間における取組で読書マラソンなどを実施し、児童生徒の読書の意欲を高めている。
- 平成 28 年度より小中学校の学校図書館を巡回する学校司書を 1 名配置している。各学校図書館を年間で約 160 日訪問し、書架棚の整理や本の修理、掲示物の作成、授業の補助、蔵書の選定等を行い、児童生徒と学校のニーズにあった充実した学校図書館となっている。
- 全ての小中学校で、朝自習の時間等に読書活動を設けて時間を確保し、読書習慣が定着している。

**【課題となっていること】**

- 学校図書館を利用する時間を確保する努力をしているが、学校図書館の人員不足による利用可能時間の削減、児童生徒数の減少、放課後の利用ができない等の理由から、学校図書館貸し出し冊数の増加は見られない。
- 今後は、図書システムの導入など、各児童生徒に合った図書の案内を行う体制の整備を行う必要がある。

○学校教育環境の改善

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	中学校の体操着及び制服の変更					
	現状値	—			目標値	令和2年度までに実施	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		— 〔菅谷小学校 体操着変更〕	— 〔大妻嵐山高等学校 制服変更〕	—	—	—	

【決算額】 (千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	学校ブランド化事業	教育委員会事務局	—	—	—	—	—	

【効果があったこと】

- ・平成27年度に菅谷小学校の体操着がリニューアルされた。
- ・嵐山町主導ではないが、平成28年度から大妻嵐山高等学校の制服がリニューアルされた。
- ・町教育委員会において、制服に関する情報交換を行った。

【課題となっていること】

- ・保護者負担の軽減のため、体操着及び制服の町立学校での統一化について、今後検討していく。

○学校施設の改善

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	老朽化したプール施設の改修					
	現状値	—			目標値	令和2年度までに実施	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		—	菅谷小学校プール 改修工事実施	—	—	—	

【決算額】 (千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	小中学校施設改修事業	教育委員会事務局	53,953	184,797	6,695	4,416	19,138	

【効果があったこと】

- ・七郷小学校のプールが使用できなくなり、志賀小学校での移動実施となった。両校間での連絡を密にし、教育課程上の問題は生じなかった。

【課題となっていること】

- ・菅谷中学校に続き、七郷小学校のプールも配管の腐食により使用中止となった。今後も小中学校のプール及びろ過機の老朽化による対応が課題となっている。
- ・学校施設の老朽化に伴う維持修繕が増加傾向にあり、修繕箇所の緊急性や優先順位を定め計画的に、トイレの洋式化、プールろ過機等の施設整備を行う必要がある。老朽化対策及び施設整備については、嵐山町公共施設等総合管理計画に基づき、将来性を考慮した個別施設整備計画の策定に向けた準備が課題となっている。平成30年度には、個別施設計画の策定に向けた基礎データとなる各学校

施設の点検業務を実施し、学校施設個別計画の令和2年度中の策定を急いでいる。

- ・新学習指導要領に基づく学習環境の整備、特に ICT を活用した学習活動、プログラミング教育に対応可能な情報教育環境施設整備が急がれる。
- ・平成29年度より小中学校における再編の検討を進めており、令和2年2月に今後の指針となる適正規模等基本計画を策定した。より良い教育環境の整備と充実した学校教育の実現に向け、今後はより具体的な検討や協議が必要となるとともに、町と教育委員会としての方針を定め、保護者・地域住民等の理解を得ることが最大の課題である。

### ○民間活力等を利用した学習支援

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	嵐山町学習支援教室の開催				
	現状値	—		目標値	令和元年度までに開催	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		—	—	年間25回実施	年間25回実施	年間24回実施

#### 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	R1
1	学習支援教室運営事業	教育委員会事務局	—	—	3,632	2,742	2,629

#### 【効果があったこと】

- ・平成29年7月から町内の小学校3・4年生と中学校3年生を対象に基礎学力充実教室を開講し、3年目の事業となった。申込者全員を参加決定とし、小学3年生31人、4年生33人、中学3年生26人の計90人が参加し、年間24回土曜日に教室を実施した。
- ・昨年に引き続き学習ボランティア登録制度を運用し、夏休みの8月に自主学習教室を開講し、子供たちの学習を学習ボランティアがサポートした。

#### 【課題となっていること】

- ・教室運営及び学習支援方法のノウハウを持った事業者への業務委託で運営しているが、教室運営と同じ講義形式での授業を民間ボランティア等が主体で運営していくためには、知識と経験が相当必要となる。
- ・児童・生徒への学習支援の方法を再検討する。

#### 4. 住みよい環境をつくる

##### (1) 武蔵嵐山駅周辺施設の充実

《基本目標》 嵐山町の玄関口である武蔵嵐山駅周辺施設の充実を図ります。

No.	基本目標と年度別実績							
1	指標の内容	武蔵嵐山駅の乗降客数						
	現状値	H26年度 7,773人/日平均			目標値	令和2年度 10,000人/日平均		
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
7,729人/日平均		7,594人/日平均	7,597人/日平均	7,650人/日平均	7,287人/日平均			

##### 《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

##### ○武蔵嵐山駅前施設の整備ときれいな駅の維持管理

No.	重要業績評価指標と年度別実績							
1	指標の内容	地域活力創出拠点の来客者数						
	現状値	—			目標値	令和2年度 339,000人/年		
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
計画段階		地方創生拠点整備 交付金にて採択	施設の完成	344,000人	327,000人			
2	指標の内容	放置車両の台数						
	現状値	H26年度 82台/年			目標値	令和2年度 25台/年		
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
50台/年		73台/年	41台/年	9台/年	36台/年			

##### 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	地域活力創出拠点整備事業	企業支援課	12,420	17,357	244,523	4,435	8,237	
2	駐輪場整備管理事業	地域支援課	1,044	715	385	418	385	

##### 【効果があったこと】

- ・平成31年4月から嵐なび1階の特産品販売、観光等案内業務を町、商工会、観光協会で構成される元気回復会議のスタッフによりリニューアルした。
- ・駅西口の放置・違反駐輪自転車については、取締りを毎日実施し、良好な駅前環境を確保することができている。
- ・駅東口の放置自転車の撤去を8月と12月に実施し、計36台を撤去した。安全、交通障害、景観などの面で良好な駅前環境を確保することができた。
- ・駅前情報発信拠点を中心とした駅前周辺整備の課題解決のため、武蔵嵐山駅西口地区都市再生整備計画事業を進めている。

【課題となっていること】

- ・ 自転車やバイクの駅西口側のエレベーター前とロータリー歩道部の違反駐輪については、毎日、見回りを行い、改善されないものについて撤去等を行うことにより、年度末時点ではほぼ違反駐輪がない状態となっている。引き続き毎日の見回りを行い、継続的に違法駐輪ゼロとなるようにしていくことが必要である。東口・西口を含めた駅全体の駐輪場対策が課題である。

○駅周辺未利用地の活用

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	駅前の空き店舗又は空き家の利活用数				
	現状値	—			目標値	3件（平成28年度から令和2年度累計）
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		—	0件	0件	1件	0件

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	地域活性化事業(再掲)	地域支援課	—	1,276	5,108	4,874	4,820	

【効果があったこと】

- ・ 空き家の売却・賃貸を希望する所有者と購入・貸借希望者をマッチングし、空き家の流通と活性化を図る空き家バンク制度を平成29年2月に開始し、令和元年度末現在で4件の物件登録があり、累計で11件の売却契約、3件の賃貸契約が締結された。
- ・ 1件空き家をリフォームし、令和2年度より嵐山町社会福祉協議会が運営する高齢者向けのサロンとして活用する。

【課題となっていること】

- ・ 駅前情報発信拠点を中心とした駅前周辺整備の課題解決のため、武蔵嵐山駅西口地区都市再生整備計画事業を進めている。
- ・ 駅前の空き店舗や空き家は老朽化が進んでおり、耐震性やリフォームなどが必要なため、空き家の積極的利活用が難しい状況となっている。

(2) 自然豊かな環境整備の推進

《基本目標》

自然豊かな環境を保全・活用しつつ、「住んでいてよかった」といわれるような快適なまちづくりを進めます。

No.	基本目標と年度別実績						
1	指標の内容	耕作放棄地面積					
	現状値	H26年度 116ha			目標値	令和2年度末 116ha維持	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		116ha	107.5ha	110.6ha	110.8ha	108.5ha	
2	指標の内容	主体的な道路維持管理団体数(アダプトプログラム及び嵐山まもり隊数)					
	現状値	H26年度末 7団体			目標値	令和2年度末 22団体	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		10団体 ロードサポート7団体 嵐山まもり隊3団体	19団体 ロードサポート8団体 嵐山まもり隊11団体	23団体 ロードサポート9団体 嵐山まもり隊14団体	23団体 ロードサポート9団体 嵐山まもり隊14団体	24団体 ロードサポート9団体 嵐山まもり隊15団体	
3	指標の内容	交通弱者に対するデマンドタクシー利用者数					
	現状値	H25年度 398人			目標値	令和2年度 600人	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		516人	573人	524人	507人	627人	

《具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)》

○耕作放棄地の解消

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	耕作放棄地面積					
	現状値	H26年度末 116ha			目標値	令和2年度末 116ha維持	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		116ha	107.5ha	110.6ha	110.8ha	108.5ha	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	農業者支援事業(再掲)	農政課	19,546	39,456	61,422	31,647	10,274	
2	農地情報登録事業(農地バンク)	農業委員会	—	—	—	—	—	

【効果があったこと】

- ・農地バンク事業を活用することで耕作放棄地が減少した。

【課題となっていること】

- ・嵐山町は中山間地域に属する生産性の低い農地が点在しているうえ、耕作者の高齢化や跡継ぎ不在による労働力不足が多く、耕作放棄地の発生原因となっている。
- ・農地バンク事業を実施しているが、所有者と利用者のマッチングが課題となっている。

○自然豊かな里地里山環境の保全・管理

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	里山平地林再生事業地(埼玉県事業)					
	現状値	H26 年度末 延べ 58.28ha			目標値		令和 2 年度末 延べ 100ha
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		66.34ha	72.11ha	78.18ha	91.45ha	104.26ha	

【決算額】 (千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	林業振興事業	農政課	3,138	16,117	16,120	15,903	12,188	
2	自然緑地管理活用事業	環境課	1,937	2,036	3,214	1,999	2,103	
3	オオムラサキの森管理事業	環境課	3,174	2,747	2,833	2,824	2,927	
4	トラスト地管理事業	環境課	352	416	507	429	463	
5	農地地域資源・環境保全向上事業	農政課	4,703	5,153	5,348	6,023	6,023	

【効果があったこと】

- ・平成 28 年度より県の補助事業となった里山平地林再生事業の活用により、令和元年度に 12.81ha を整備した。
- ・放置され荒廃した里山・平地林を再生することにより、近年増加傾向にある有害鳥獣のイノシシやアライグマなどのねぐらを解消するとともに、森林環境の整備をすることができた。

【課題となっていること】

- ・竹林に関しては整備後の維持管理が十分でないとい数年で元に戻ってしまう。土地所有者も高齢化しており、維持管理が継続できる体制作りが課題となっている。

○道路・橋りょうの適正な維持管理

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	主体的な道路維持管理団体数(アダプトプログラム及び嵐山まもり隊数)					
	現状値	H26 年度 7 団体			目標値		令和 2 年度 22 団体
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		10 団体 ロードサポート 7 団体 嵐山まもり隊 3 団体	19 団体 ロードサポート 8 団体 嵐山まもり隊 11 団体	23 団体 ロードサポート 9 団体 嵐山まもり隊 14 団体	23 団体 ロードサポート 9 団体 嵐山まもり隊 14 団体	24 団体 ロードサポート 9 団体 嵐山まもり隊 15 団体	
2	指標の内容	橋りょうの修繕					
	現状値	—			目標値		70 橋(平成 28 年度から令和元年度累計) 11 橋(令和 2 年度)
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		11 橋	8 橋 (累計 19 橋)	16 橋 (累計 35 橋)	14 橋 (累計 49 橋)	21 橋 (累計 70 橋)	

## 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	道路修繕事業	まちづくり整備課	53,602	65,939	11,534	16,633	17,716	
2	道路管理事業	まちづくり整備課	10,417	8,274	8,717	9,092	7,979	
3	橋りょう修繕事業	まちづくり整備課	12,715	13,944	36,898	7,714	43,632	
4	嵐山まもり隊事業	地域支援課	146	302	89	205	146	

## 【効果があったこと】

- 平成 27 年度より草の根的なボランティアである嵐山町まもり隊の募集を開始し、15 団体 185 名が町公園や道路などの環境美化、生涯学習分野でのボランティア活動が行われた。重機を使用し、沼の改修を行うなど大掛かりな作業をしていただいた団体もあった。
- 橋りょう点検は、各橋 5 年に一度の点検を実施することとなっており、令和元年度は 21 橋を実施した。(実績値は橋梁の点検数である。)

## 【課題となっていること】

- ポスター、武蔵嵐山駅デジタルサイネージ、広報、嵐山町まもり隊の活動自体を通じて町民に認知され、活動が定着してきた。全町的な活動として広めるため、更に広報活動し周知を図る。
- まもり隊の登録者は高齢化が進み、一方で耕作放棄地は増加傾向にあり、十分な対応ができていない。
- 橋梁の修繕は橋りょう長寿命化修繕計画に基づき実施することとなっているが、5 年ごとの定期点検での判定が「早期措置段階」「緊急措置段階」とされた場合、優先的に修繕を行わなければならないため、修繕の計画が先送りとなっていた。第 1 期の橋りょう長寿命化修繕計画を改定し、令和元年度に改めて橋りょう長寿命化修繕計画を策定した。引き続き予防修繕における財源確保が課題である。

## ○上水道及び下水道の適正管理

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	水道の有収率※					
	現状値	H26 年度末 95.55%			目標値	令和 2 年度末 95%維持	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		94.93%	95.23%	93.38%	93.87%	93.22%	
2	指標の内容	下水道水洗化人口普及率					
	現状値	H26 年度末 83.3%			目標値	令和 2 年度末 90%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		85.1%	85.9%	87.2%	88.3%	89.0%	
3	指標の内容	合併処理浄化槽人口普及率					
	現状値	H26 年度末 65.0%			目標値	令和 2 年度末 80%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		66.4%	69.0%	70.4%	73.2%	74.4%	

※有収率：配水量に対して、どのくらい有収水量があったかを示す割合です。（料金対象となった水の割合で、100%になることが望ましいといわれています。）

※「下水道水洗化人口普及率」とは、下水道の整備済地域に住んでいる人のうち、どれくらいの人が実際に下水道に接続使用しているかを示すものです。（下水道水洗化人口普及率＝下水道接続人口／下水道処理区域内人口）

※「合併処理浄化槽水洗化人口普及率」とは、合併処理浄化槽の整備区域に住んでいる人のうち、どれくらいの人が実際に合併処理浄化槽で生活排水を処理しているかを示すものです。

（合併処理浄化槽水洗化人口普及率＝合併処理浄化槽処理人口／浄化槽整備区域内人口）

#### 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	配水管網整備	上下水道課	38,631	109,177	15,802	29,842	35,276	
2	基幹管路耐震化事業	上下水道課	128,052	153,932	0	0	0	
3	設備更新事業	上下水道課	22,636	33,577	44,388	3,164	150,713	
4	設備整備事業	上下水道課	0	0	0	0	0	
5	経営効率化事業	上下水道課	21,447	20,455	20,455	21,784	31,066	
6	下水道事業特別会計繰出金	上下水道課	234,904	247,700	242,736	240,333	243,664	
7	都市下水路管理事業	上下水道課	1,845	3,030	2,619	3,082	1,672	
8	浄化槽市町村整備事業	上下水道課	104,037	132,019	110,761	106,777	87,809	

#### 【効果があったこと】

- ・老朽化による漏水件数が平成30年度の131件から令和元年度は78件に減少した。
- ・水道施設及び設備の整備について電気設備と機械設備、送水電動弁、県水流量計等を更新し、老朽管更新などの工事を計画に基づき実施し、水道水の安定供給を実施することができた。
- ・嵐山町第2次地域水道ビジョンに基づき、安全で安心な水の安定供給及び自己資金で投資を行う健全な事業経営を継続した。
- ・下水道施設の緊急的な老朽管更新工事を実施し、未然の事故防止とライフラインとしての安定した施設確保ができた。

#### 【課題となっていること】

- ・人口減少による給水人口の減少の傾向は引続き進んでいることを念頭に、長期的な投資計画に基づく財源の確保が課題となってきている。
- ・主に老朽化に伴う水道施設の更新を実施したが、安全な水を安定して供給するため、老朽化している施設等の更新・耐震化が必要となっている。
- ・下水道処理区域内の水洗化人口普及率が前年度比0.7ポイント増加したものの、未だ未接続人口の割合は11.0%となっており、さらなる接続推進が必要である。
- ・浄化槽市町村整備推進事業における第1期整備計画の最終年における整備累計500基に対し、令和元年度末整備累計502基（進捗率100.4%）で整備計画を達成したが、単年度整備基数としては計画初年度139基から令和元年度末22基へと鈍化傾向にあり、目標の浄化槽人口普及率に達するために、第1期整備計画を令和3年度まで延長したが、次期整備計画の継続検討を行う必要がある。

○交通弱者に対する支援

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	交通弱者に対するデマンドタクシー利用者数					
	現状値	H25年度 398人			目標値	令和2年度 600人	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		516人	537人	524人	507人	627人	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	交通弱者対策事業	地域支援課	2,692	0	—	—	—	
2	デマンド交通事業	長寿生きがい課	8,030	8,232	5,393	5,779	7,763	
3	母子保健事業(再掲)	子育て支援課	1,646	2,096	2,266	2,152	2,823	

【効果があったこと】

- ・高齢者外出支援事業については、タクシー利用料金の助成を行っており、対象年齢を10歳引き下げ、新たに2社の介護タクシー事業者を加える見直しを行ったため、利用人数は前年比123.7%で120名の増、申請者数は前年比125.2%で173名の増、利用件数は前年比121.0%で1,828件増加した。
- ・平成29年1月より高齢者運転免許証自主返納支援事業を開始し、令和元年度も引き続き、運転に不安を感じた高齢者の免許証の自主返納を促した。自主返納者数は平成30年度は54名であったが、令和元年度は65名に増加した。

【課題となっていること】

- ・高齢者外出支援事業、高齢者運転免許証自主返納支援事業ともに、申請率、利用率の向上が課題となっている。
- ・現在の料金体系になり3年が経過し「以前までの制度の方が使いやすかった」との声は聞かれなくなり、喜ばれることが多くなった。アンケート調査では、利用しやすくなったが5割、どちらでもないが3割、利用しにくいので見直すべきが2割であった。町民への更なる周知を行うとともに、嵐山町ではどのような制度が適しているか、あらためて検討していく。
- ・高齢運転者の交通事故が社会問題となっているため、高齢者運転免許証自主返納を推進していく。
- ・平成27年に実施した生活交通に関する基礎調査においては、外出のための生活交通の不安や不便が大きく顕在化していない状況という結果であった。しかし将来的には少子高齢化、生産年齢人口の減少が予想されており、近隣市町村の状況を勘案しつつ現在の方式を当面継続して行くとし、今後改めて人口動態等が変化した段階で検討していく。
- ・現在、公共交通の見直しを含めプロジェクトチームにおいて検討している。

## 5. 地域の安全・安心をつくる

### (1) 安全・安心な公共施設の推進

#### 《基本目標》

既存の公共施設の計画的な修繕を行い、公共施設等総合管理計画の策定など公共施設の適正化や複合化等利活用を図ります。

No.	基本目標と年度別実績						
1	指標の内容	公共施設等総合管理計画個別計画の策定					
	現状値	—			目標値	令和2年度までに全施設策定	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		策定中	策定中	策定中	策定中	策定中	

#### 《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

##### ○公共施設の維持管理と利活用

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	公共施設等総合管理計画個別計画の策定					
	現状値	—			目標値	令和2年度までに全施設策定	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		14 類型中 2 類型策定済み					

##### 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	公共施設等総合管理計画個別計画策定事業	地域支援課	—	—	—	—	—	

##### 【効果があったこと】

- 平成29年3月に公共施設等総合管理計画を策定し、個別計画については14種類ある施設類型中の2種類（嵐山町橋梁長寿命化修繕計画・嵐山町第2次水道事業基本計画）が策定済みとなっている。

##### 【課題となっていること】

- 令和元年度より2か年かけ公共施設個別施設計画を策定中。

(2) 交通安全の推進

《基本目標》

交通安全意識の普及や道路環境の整備を図り、事故のない安全なまちづくりを目指します。

No.	基本目標と年度別実績						
1	指標の内容	交通事故(人身事故)発生件数					
	現状値	H26年度 73件/年		目標値		令和2年度 65件/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		87件/年	72件/年	58件/年	63件/年	54件/年	

《具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)》

○交通事故発生件数の減少への取り組み

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	交通事故(人身事故)発生件数					
	現状値	H26年度 73件/年		目標値		令和2年度 65件/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		87件/年	72件/年	58件/年	63件/年	54件/年	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	交通安全施策推進事業	地域支援課	668	651	597	462	543	
2	交通安全施設整備事業	まちづくり整備課	9,510	4,900	2,735	2,608	2,006	

【効果があったこと】

- ・警察及び交通安全関係団体等と連携し、4・7・9・12月に交通安全街頭キャンペーンを実施したほか、高齢者世帯を訪問し、交通安全について呼びかけを行った。また、小学校の新入学児童向けに交通安全啓発品を配布するなど啓発活動を行った。このほか、交通安全啓発看板の設置場所見直しを随時行っており、さらに地区要望にも対応した。これらの継続した取り組みが交通事故発生件数の減少に繋がっていると思われる。

【課題となっていること】

- ・人身事故件数は減少したが、死亡事故が発生してしまった。注意喚起の看板等の設置と設置箇所の見直し、広報やホームページなどでの事故防止を呼びかけ、交差点、高齢者事故等に対する安全対策を強化することが課題となっている。
- ・自転車事故については小中学生が加害者となることが多く、死亡事故の場合などには多額の賠償金が発生する可能性があるため、自転車の賠償責任保険の加入率を高めることが必要である。

○幹線道路や生活道路の整備

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	幹線道路(町道)の整備予定距離					
	現状値	—			目標値	2,005m (平成 27 年度から令和 2 年度累計)	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		0m	681m (累計 681m)	308m (累計 989m)	356m (累計 1345m)	127m (累計 1472m)	
2	指標の内容	生活道路(町道)の整備予定距離					
	現状値	—			目標値	537m (平成 27 年度から令和 2 年度累計)	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		160m	0m (累計 160m)	175m (累計 335m)	120m (累計 455m)	112m (累計 567m)	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	幹線道路整備事業	まちづくり整備課	80,410	71,471	52,351	37,842	53,897	
2	生活道路整備事業	まちづくり整備課	47,931	10,240	42,865	25,035	15,678	

【効果があったこと】

- ・七郷小学校から関越自動車道嵐山 PA（上り）に向かう幹線道路である町道 1-3 号の一部区間 127m の工事が完了し、供用開始することができた。
- ・狭あい道路である町道越畑 165 号線の 112m の道路拡幅が完了し、利便性や地域の活性化を図ることができた。

【課題となっていること】

- ・町道 1-3 号整備については国の支援により整備を進めているが、内示率が低く進捗しなかった。令和 2 年度に終了する予定である。
- ・都市計画道路については、令和 2 年度に線形変更の都市計画決定を行い、測量設計を行う予定である。

(3) 防犯対策の充実

《基本目標》

地域一体となって犯罪の起こりにくい環境を整備し、安全なまちづくりを目指します。

No.	基本目標と年度別実績						
1	指標の内容	犯罪発生件数					
	現状値	H26 年度 139 件/年			目標値	令和 2 年度 110 件/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		168 件/年	120 件/年	121 件/年	143 件/年	112 件/年	

## 《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

### ○防犯対策意識の充実

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	犯罪発生件数					
	現状値	H26年度 139件/年			目標値	令和2年度 110件/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
168件/年		120件/年	121件/年	143件/年	112件/年		

#### 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	防犯対策事業	地域支援課	2,426	2,473	1,354	983	887	
2	防犯モデル地区事業	地域支援課	1,000	500	485	0	0	
3	道路照明灯施設設置事業	まちづくり整備課	9,501	7,473	7,055	6,656	7,483	
4	道路照明灯施設管理事業	まちづくり整備課	22,308	8,635	9,319	10,044	10,326	

#### 【効果があったこと】

- ・町内全域において自主防犯組織による活動が積極的に展開され、令和元年度は38の自主防犯組織による防犯活動が行われた。(防犯ボランティア登録数 1,015人)

#### 【課題となっていること】

- ・自主防犯組織を通じて犯罪が発生しにくい地域をつくり、自助・共助の考えが住民に普及するよう、いかに住民周知に取り組むかが課題である。
- ・防犯ボランティア参加者の高齢化が進み、参加する人も一定の人に限られ、防犯ボランティア登録数が横ばいになっている。新しい人の参加が課題となっている。

### (4) 防火・防災対策の充実

#### 《基本目標》

地域住民や関係機関と連携を密にし、火災や災害のない安全・安心なまちづくりを進めます。

No.	基本目標と年度別実績						
1	指標の内容	自主防災組織における防災訓練の実施数					
	現状値	H26年度 7回/年			目標値	令和2年度 10回/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
10回/年		38回/年	38回/年	36回/年	35回/年		

## 《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

### ○防火・防災対策への取り組み

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	自主防災組織における防災訓練の実施数					
	現状値	H26年度 7回/年			目標値	令和2年度 10回/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
10回/年		38回/年	38回/年	36回/年	35回/年		
2	指標の内容	防災無線のデジタル化(事業完了)					
	現状値	H26年度 6局			目標値	H31年度 58局	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
6局		6局	6局	11局	58局		

### 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	防災対策事業	地域支援課	1,140	1,930	6,130	2,055	2,558	
2	防災行政無線施設整備 管理事業	地域支援課	4,819	15,486	3,002	42,717	325,497	
3	防災訓練事業	地域支援課	0	105	340	0	270	

### 【効果があったこと】

- 令和元年東日本台風（台風19号）において警戒レベル4避難勧告を発令した。平成30年度に見直しを行った災害対応の横断的な職員体制により、避難所を6箇所開設、386名の避難者を受け入れた。
- 11月4日に京都府久御山町と災害時相互応援協定、11月7日に一般財団法人リモート・センシング技術センターと災害時に備える協力活動に関する協定を締結し、災害時における協力体制を強化した。
- 電波法令の改正によるアナログ方式防災行政無線設備のデジタル化更新工事を平成30年度・令和元年度の2ヶ年で行い、平成30年度5基、令和元年度47基の子局を更新し、子局全局のデジタル化が終了した。

### 【課題となっていること】

- 災害時に実際の避難所運営を担う地元防災会の高齢化が進んでおり、防災訓練の参加者についても固定化されている。
- 避難所における新型コロナウイルス感染症への対策が求められており、避難方法の検討や避難所でのスペースの確保などの対応が課題となっている。

### ○個人住宅の耐震化の促進

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	一般個人住宅の耐震化率					
	現状値	H25年度末 65.4%			目標値	令和2年度末 95.0%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
66.2%		66.6%	66.9%	67.2%	67.7%		

## 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	耐震化促進事業	まちづくり整備課	4	1	9	21	23	

## 【効果があったこと】

- 耐震性能を備えた戸数が90件（新築27件、改築63件）増加したことにより、住宅の安全性が向上した。

## 【課題となっていること】

- 昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建築された住宅は、耐震化の改修を行うより建替となるケースが多く、耐震改修による耐震化は進んでいない。引続き耐震改修の重要性について今後も啓発を進め、住宅の耐震化率の向上を図る必要がある。

## ○高齢者のバリアフリーへの対応

No.	重要業績評価指標と年度別実績						
1	指標の内容	子育て高齢者応援リフォーム補助金の申請件数					
	現状値	—			目標値	50件（高齢者分） （平成27年度から令和2年度までの累計）	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		5件	11件	16件	21件	25件	

## 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費					
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	子育て高齢者応援リフォーム補助事業(再掲)	まちづくり整備課	807	1,139	1,023	755	459	

## 【効果があったこと】

- 令和元年度の申請件数4件と少ないが、高齢者世帯の住環境について一定の改善が図られたと思われる。
- 補助制度に関する広報紙への掲載やチラシの配布を行い、ある程度の周知を図ることが出来た。

## 【課題となっていること】

- 子育て高齢者応援リフォーム補助事業制度を行うことにより、今後も高齢者世帯の住環境の改善を図っており、一定の成果が出たと思われる。高齢者世帯の住環境の改善が図られていた。目標には達しなかったが、希望者には全て対応できた。
- 平成27年度から行っていた子育て高齢者応援リフォーム補助金については5年間が経過したため令和元年度をもって事業終了となった。

## 結 果

### ○令和元年度実績での目標値に対する進捗状況

(1項目に目標が2つあるものについては、良い方の実績で判定しています。)

基本目標進捗状況		
達成度	項目数	
	令和元年度	平成30年度
100%達成	11項目	10項目
100%～80%達成	2項目	3項目
80%～60%達成	4項目	3項目
60%～30%達成	2項目	1項目
30%～0%超達成	0項目	0項目
達成度0%	0項目	0項目
その他 (計測等今後行うものも含む)	1項目	3項目

重要業績評価指標進捗状況		
達成度	項目数	
	令和元年度	平成30年度
100%達成	19項目	16項目
100%～80%達成	12項目	13項目
80%～60%達成	11項目	6項目
60%～30%達成	8項目	6項目
30%～0%超達成	4項目	12項目
達成度0%	3項目	2項目
その他 (計測等今後行うものも含む)	5項目	5項目